



皆さんの悩み、お聞きします

ケアラーの窓から

Vol.15

地域の皆さんの 多くのチカラを お借りしたい

Profile

デイサービスやまぼうし（桜丘 1）

管理者 **大浦 雅広** さん
おおうら まさひろ

倶知安町出身。大学卒業後、これまで14年間にわたり同施設で社会福祉士をつとめる。生活相談員として、利用者をはじめ、ご家族や地域の方々など、多くの町民を支える一人です。



介護の分野は人材不足と言われており、当施設でも人手不足を感じています。「求人を出しても応募が来ない」「今いる職員だけで回さないといけない」といった状況です。そんな中、町外からも人材を確保しようと、外国人の登用や職場環境の改善に取り組んでいます。

外国人労働者の登用 職場環境をより良い場へ

外国人の方と一緒に働いた際は、一生懸命福祉のことや日本語を学ぼうとする真面目な姿に大変感心しました。時には私たちには気づかない利用者さんの変化に気づいたり、素朴な疑問

個性豊かな利用者さんたち やりがいを感じる日々

利用者さんの「いきがいつくり」を支える通所型施設「デイサービス」を運営しています。施設に足を運ぶ利用者さんは、趣味の手芸を楽しむ方、経験を活かした見事な手さばきでさまざまな仕事に取り組む方など、個性豊かな皆さんです。私

や新たな発見があるなど、職場内での相乗効果もありました。職員に対しては、希望に合わせ休暇を確保できるようなシフト組みや生活スタイルに合わせた出勤時間の調整など、「休みたいときは休める」といった環境を心掛けています。

町民の皆さんの力を ぜひお借りしたい

町の介護人材確保プロジェクトチームに参加して、町内の他施設でも人材不足が顕著であることを実感しました。また、介護福祉学校や栗山高校の取り組み（福祉に特化した新科目導入）の話を聞き、若い方に福祉を知る機会があればと思います。

コロナ禍以前は町内のフラダンスやハーモニカなどのサークル団体さんを施設に招いて交流する機会もありましたが、現在は地域とのそのような繋がりがなくなっていました。

情勢が変わりつつある今、再び多くの町の人の力をお借りしながら、施設運営を進めていきたいですし、利用者さんと交流していただける方がいましたら、一緒に活動できれば嬉しいです。

※今月のコラムは、栗山町介護人材確保プロジェクトチームの協力により掲載しています。

栗山学び隊 Vol.33

介護福祉学校と栗山高校に通う皆さんの様子をお届けします

お世話になった方へ感謝の気持ち

おおも ひろむ
大森 優夢さん（北海道介護福祉学校 2年）

根室市出身の大森さん。根室高校在学時、クラス担任からの紹介がきっかけで介護学生となりました。「当時は就職も考えていましたが、町に来て多くの人と関わることで、学校で学べてよかったです」と話します。

支えたのは先生の存在でした。「常に気にかけていただき、マンツーマンで勉強や生活面でもサポートしてくれました。感謝しかありません」と笑顔を見せます。



地域に愛されるチーム・栗山高校野球部

いしかわ 石川 さん（2年）
 さわき 澤木 さん（2年）
 まつお 松尾 さん（1年）
 とわ 翔羽 さん（2年）
 せな 星那 さん（2年）
 ひろと 弘人 さん（1年）
 いながき 稲垣 さん（2年）
 つしま 対馬 さん（2年）
 なす 那須 さん（1年）
 せら 星輝 さん（2年）
 ゆうと 優斗 さん（2年）
 りんか 凛花 さん（1年）

「笑顔が絶えない元気がっぱいのチームです」と話す、現主将の石川さん。他高との連合チームで臨んだ令和4年、夏の大会で一勝を挙げると秋季大会では春の選抜（甲子園）に出場するク

練習メニューの意味を考え取り組んでいるとのこと。また先日、チームでボランティア活動を行い、町内の除雪を実施。メンバー全員が町の人に感謝されて嬉しかったと照れながら話し「目標は地域で愛されるチーム。練習を頑張るしながら色々な地域の活動も行っています」と決意を述べました。



栗山高校野球部の様子はSNSでも発信中！
 @KURIYAMA_BASEBALL